

【香川県】

現在の景気：一部に弱い動きもみられるものの、緩やかな持ち直しの動き。

3か月程度の見通し：緩やかな持ち直しが続くとみられている。

個人消費：持ち直しの動き。2月の大型小売店販売（店調前、速報値）は前年比0.7%増加。店調後は前年比0.2%増加。乗用車販売（軽含む）は前年比39.1%増加。

住宅建築：弱めの動き。2月の住宅着工戸数は、持家が前年比23.5%増加、分譲住宅が47.8%増加したものの、貸家が1.0%減少し、全体では前年比8.3%減少。

設備投資：持ち直し。製造業を中心に持ち直しつつある。

公共工事：低迷。2月の公共工事請負額は、国が前年比128.3%増加、市町が7.7%増加したものの、県が40.2%減少し、全体では前年比17.8%減少。

輸出：足許増加したものの、横這い。2月の県内通関輸出額は、鉄鋼、電気機器、化学製品が減少したものの、一般機械、船舶などが増加し、全体では前年比30.2%増加。

生産活動：持ち直しの動き。1月の鉱工業生産指数（季調済）は前月比2.2%上昇し112.8。原指数は前年比2.7%上昇し101.5。鉄鋼、非鉄金属、一般機械などが上昇、電気機械、化学、食料品などが低下。

観光：減少。2月の県内主要観光地の入込客数は、屋島、小豆島が増加したものの、栗林公園、琴平が減少し、全体では前年比3.1%減少。

雇用情勢：横這い。2月の有効求人倍率（季調済）は前月比同水準の1.09倍。新規求人数（原数値）は、製造業、運輸業、郵便業、生活関連サービス業、娯楽業以外の主要産業で増加し、全体では前年比20.5%増加。

（トピックス）

○3月22日、県が2012年県内地価（1月1日時点）を公示。県内179地点の対前年平均変動率は住宅地が△5.5%（前年△5.8%）、商業地が△6.0%（前年△6.4%）、全用途平均が△5.8%（前年△6.2%）。下落幅は縮小したものの、全継続地点で3年連続の下落。地価の下落は21年連続。